

こども委員会のよりみちコラム

作成者：材津 睦美

作成日：7月10日

「こどもとイマドキの環境」

あつ〜い8月は材津が担当します。皆さん、夏を楽しんでいますか？

近年は外の暑さが厳しく、子どもを外で遊ばせるのも危険を感じるようになりました。休みの日に「ゲームをやめて外で遊んできたら？」なんて、気軽に言えなくなってきましたよね。そもそも、子どもたちだけで安心して遊べる場所自体も少なくなっているように思います。

今回は、そんな「子どもを取り巻く環境」について考えてみました。



～家庭と地域の環境の変化～

子どもたちを取り巻く家庭環境や地域環境は、私がかつ子どもの頃と比べて大きく変化していると感じます。特に、核家族化の進行や、スマートフォン・動画配信サービス・SNSの普及、そして地域のつながりの希薄化が顕著です。

子育てをしている方なら、一度は「家庭でゲームやYouTube、SNSなどを子どもにどう与えるか」という悩みに直面したことがあるのではないのでしょうか。我が家でもこれは常に悩みの種であり、これらが子どもに与える影響や、家族間のコミュニケーションの低下を心配しています。単に「どう管理するか」だけでなく、家族で一緒に過ごす楽しい時間を増やしたり、家族全員で話し合うことがとても大切だと感じています。



～地域のつながり～

一方で、私の限られたつながりの中にも、子どもたちを温かく見守ってくださる方々があります。たとえば、我が子が低学年の頃から通っている地域の読み聞かせサークルは、今では子どもにとって安心して過ごせる大切な居場所となっています。私自身も親として、そこで子どもの相談をさせていただくことがあり、地域とのつながりを強く感じる場面が増えました。

また、地域の取り組みとして「こども食堂」も盛んになっています。家族以外にも、子どもが安心して頼れる大人が地域にいることは、本当にありがたいことだと実感しています。

皆さんの地域では、お子さんを取り巻く環境はいかがでしょうか？ イベントやお祭りが多い夏休みですが地域の取り組みに目を向けてみるのも面白いかもしれませんね！

